

(本リリースは、2018年7月31日に米国 Entrust Datacard(本社:ミネアポリス)で発表されたニュースリリースの抄訳です。)

## Entrust Datacard、英国 CensorNet 社に戦略的投資を実施。同社の多要素認証テクノロジーソリューションを獲得

信頼できるアイデンティティとセキュアなトランザクションテクノロジーソリューションを提供するリーディングカンパニーである米国 [Entrust Datacard](#) は、継続的な認証を可能にするより強化なパターン分析を使用し、リアルタイムでの脅威検知を実現するために、クラウドセキュリティの専門企業である CensorNet に対して戦略的投資を行ったことを発表しました。また、Entrust Datacard は、CensorNet が保有している適用型多要素認証テクノロジーソリューションである SMS Passcode(元々はデンマークのコペンハーゲンを本拠地とする SMS PASSCODE 社の製品)を獲得したことを発表しました。SMS Passcode テクノロジーの戦略的な獲得と CensorNet の USS プラットフォームへの投資により、Entrust Datacard のイノベーター的な認証ソリューションプロバイダーとしての立場がより一層確固としたものとなるほか、DACH(ドイツ、オーストリア、スイス)/ベネルクス 3 国および北欧諸国全体において Entrust Datacard の販路を拡大できるようになります。

CensorNet の USS プラットフォームには、クラウドアクセスセキュリティブローカー(CASB)、多要素認証、Web および電子メール関連のセキュリティが含まれているため、同プラットフォームを利用することで、認証、PKI、SSL の分野における Entrust Datacard の新しいオファリングを強化できます。また、CensorNet との協働により、Entrust Datacard のインテリジェントな Authentication Insight Engine を強化することで、同エンジンの行動分析およびパターン分析能力を高め、よりインテリジェントでリアルタイムな意思決定を実現し、次世代の脅威およびコンプライアンス関連のニーズを満たすようにセキュリティやユーザーエクスペリエンスを向上させることが可能となります。

Entrust Datacard の社長兼 CEO である Todd Wilkinson は次のように話しています。「アイデンティティ中心のデータ分析は CensorNet の DNA に、そしてアイデンティティ保証機能は当社の DNA にそれぞれ刻み込まれています。当社と CensorNet との新しい

提携関係および当社による CensorNet への投資は、将来的に両社のオファリングを強化し、両社が力を合わせて市場を再構成するためのコラボレーションを行う機会があることを意味しています」。

両社間のコラボレーションを成功させるために、今後、Entrust Datacard の社長兼 CEO である Todd Wilkinson は CensorNet の役員会に参加する予定であり、SMS Passcode チームはより大規模な Entrust Datacard 認証チームと統合されることとなります。

急激に変化する IT および脅威環境において、よりシームレスで摩擦のないセキュアな顧客エクスペリエンスに対するニーズが、かつてないほどに高まっています。SMS Passcode を獲得したことで、Entrust Datacard は、同ソリューションのテクノロジーを自社の IntelliTrust™ SaaS 認証ソリューションと統合し、USS の機能を Entrust Datacard の顧客が使えるようにすると同時に、高度なモバイルおよびクラウド機能を SMS Passcode の顧客が使えるようにすることにより、サービスを改善できます。

CensorNet の CEO である Ed Macnair 氏は次のように述べています。「当社と Entrust Datacard は、リアルタイムのアイデンティティ中心のセキュリティに関するビジョンを共有しており、両社が協働することでそのようなビジョンをより迅速に達成することが可能となり、別々に活動するよりも大きな影響を市場に与えることができます。Entrust Datacard が SMS Passcode を獲得したことは、より広範な IAM 市場と SMS Passcode の顧客に恩恵をもたらすでしょう。また、Entrust Datacard は既存のパートナーシップを踏まえた上で当社の USS オファリングを強化するため、この新しい提携関係により顧客へのサービスが向上することでしょう」。

Entrust Datacard には、イノベーションと拡張を地理的および技術的な意味の両方で実現することにより、絶えず変化する市場環境を反映したソリューションを提供してきたという長い歴史があります。SMS Passcode の獲得と CensorNet の USS プラットフォームへの投資は、このようなアプローチを踏襲するものであり、Entrust Datacard にとって包括的なセキュリティアプローチとグローバルなプレゼンスの両方を実現するための重要な一歩を意味しています。他のセキュリティ企業が大規模な吸収合併を実施することで中小のイノベーターを潰そうとするような場合、Entrust Datacard は標的を絞った投資や買収を通じて、そのようなイノベーター企業との強固なパートナーシップを築き上げていく所存です。

Wilkinson は次のように話しています。「SMS Passcode は、DACH(ドイツ、オーストリア、スイス)/ベネルクス 3 国および北欧諸国における確立された多要素認証(MFA)をリードする製品であり、そのことが当社の買収計画に無理なく適合する理由となりました。MFA は USS プラットフォームと共に、Entrust Datacard のソリューションポートフォリオを強力に補完するものとなるでしょう」。

この買収は、2018 年 6 月 30 日に調印が行われて完了しました。買収条件は開示されていません。

Entrust Datacard が提供する認証ソリューションの詳細については、<https://www.entrustdatacard.com/products/categories/authentication> をご覧ください。

### Entrust Datacard について

顧客、市民、従業員は、物品の購入、国境の通過、電子政府サービスへのアクセス、企業ネットワークへのログオンのどれを行う場合であれ、いつでもどこでも快適なエクスペリエンスが得られることをますます期待しています。Entrust Datacard は、これらのエクスペリエンスをセキュアで信頼できるものにする、信頼できる ID とセキュアなトランザクション技術を提供します。ソリューションには、金融機関のカード、パスポート、ID カードのような物理的な世界から、認証、証明書、セキュアな通信のようなデジタル世界に至るまでの幅があります。2,000 名を超える世界中の Entrust Datacard の従業員と、強力なグローバルパートナーのネットワークにより、同社は、世界中の 150 ヶ国でお客様にサービスを提供しています。詳細は、<https://japan.entrust.com> をご覧ください。

### CensorNet について

[CensorNet](#) はクラウドセキュリティの専門企業であり、企業や組織が各自のビジネスにおけるクラウドアプリケーションの利用を効果的に管理および制御できるように支援します。同社では、統合された Web セキュリティ、電子メールセキュリティ、CASB、適応型多要素認証を提供する、同社専用に構築された多機能型セキュリティプラットフォームを通じてクラウドを保護するために、統一された複数の階層からなるアプローチを提供しています。このアプローチにより、ユーザーアクセス、データ、資産に関するセキュリティ中心の可視性と制御を企業や組織に提供することで、企業や組織がクラウドアプリケーションおよびデバイスの利用に関連するセキュリティ、監査コンプライアンス、生産性などの問題に対処できるようにしています。また、CensorNet は、企業や組織がシャドウ IT の制御、BYOD プロジェクトの安全な実現、サイバー脅威に対する防御を行えるようにしま

す。同社は、世界中に 4000 以上の顧客企業と 130 万以上のユーザーを抱えています。CensorNet の本社はイギリスのベーシングストークにあり、米国のオースティン、デンマークのコペンハーゲン、ドイツのミュンヘンにそれぞれ支社があります。詳細については [www.censornet.com](http://www.censornet.com) を参照してください。